

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和4年度第1回高松市男女共同参画推進懇談会
開催日時	令和4年9月27日(火)14時30分～16時
開催場所	高松市防災合同庁舎3階302会議室
議 題	(1) 会長・副会長選任について (2) たかまつ女性活躍促進事業の令和3年度実績及び令和4年度実施予定について (3) 第4次たかまつ男女共同参画プランの実績報告について (4) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	(会場) 柴田会長、橋本副会長、石原委員、加藤委員、後藤委員、高橋委員、谷川委員、中村委員、仁賀委員、野崎委員、藤澤委員、藤本(正)委員、藤本(裕)委員
傍 聴 者	0人 (定員 2人)
担当課及び連絡先	男女共同参画・協働推進課(839-2275)

会議経過及び会議結果

(1) 会長・副会長の選任について
高松市男女共同参画推進懇談会設置要綱第5条第2項に規定に基づき、委員の互選により会長が選任され、副会長は会長が指名した。
会長 柴田 潤子 氏 副会長 橋本 佳子 氏

(2) たかまつ女性活躍促進事業の令和3年度実績及び令和4年度実施予定について

(事務局説明)

(会長)
今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、会議の時間短縮を図るため、委員の皆様から事前に質問等をいただいている。議題(2)についての事前質問等がある場合は事務局から説明をお願いする。

(事務局説明)

(委員)
国の方で様々な女性支援の法律が成立し、政府の方から方針が示されている。5月に困難な女性を支援する支援法の成立や、6月に女性活躍・男女共同参画の重点方針ということで、女性版骨太の方針2022年というものが発表されている。国の方から予算を支援する施策が出されると思うが、そういったものを活用して、市民の方がより暮らしやすい生活を送れるような様々な事業を更に展開してほしい。新たな事業の

会議経過及び会議結果

実施がこれからは求められてくると思う。国の方針としては、全国の男女共同参画センターを女性支援の拠点施設とするといった方針も示されているので、今後も引き続き、参画センターの事業、女性活躍促進事業の充実発展をお願いしたい。

(事務局)

女性活躍促進事業は国の補助金を使用することになるので、活用できる補助金等あれば、そちらを利用しながら男女共同参画に取り組んでいきたい。

(3) 第4次たかまつ男女共同参画プランの実績報告について

(事務局説明)

(会長)

議題(3)についての事前質問等がある場合は事務局から説明をお願いする。

(事務局説明)

(委員)

防災会議での女性委員の割合について、丸亀市、三豊市の割合が高松市より高いのはなぜか。

(事務局)

高松市の50人規模の会に比べて、丸亀市、三豊市は委員数の母数が少なく、その割合が高くなっている。高松市の場合、構成員の中の市職員として局長クラスの者が当たっており、女性の局長クラスの者が少ないため、全体的に割合が下がっている。

(会長)

その他、意見はないか。

(委員)

内閣府から全国自治体の女性の管理職登用状況や自治会長の登用率、防災会議での登用率等がでており、一般市民の方が比較検討できる状況にあるので、是非、前進できるようにお願いしたい。

(事務局)

局長会等で状況等を周知し、意識を持ってもらうよう働き掛けているが、引き続き行っていきたい。

(会長)

最近では、防災というと女性の観点からも、学問や実務的にも重視されているところなので、女性の割合は一定数必要に思う。割合を上げるというのではなく、会議の中身として女性の視点が必要だと思うので、公募枠で女性の方を採用するというのを御審議いただきたい。

(会長)

男女が共に安心できる社会づくりとして、配偶者からの暴力相談窓口があるという認知度は下がっているというデータがあるが、DV被害の

会議経過及び会議結果

相談実数を見ると、かなり増えていて、相談実数が多いのが良いのか、少ないのが良いのかというところ。問題があったところが出てきたという意味では、良いことなのではないかと思うが、相談窓口自体はあまり利用されていないのか。

(事務局)

相談窓口については、随時、機会があるごとに周知等を行っている。しかし現状は、周知しているものの認識されていない状況がある。実数を見ると相談数は増えているため、相談できる体制があると捉えれば良い方向に思えるが、実態として相談数の報告が増えてしまっているというのは考えていかなければならない。

(会長)

相談ができる体制ができているということで捉えたいと思う。

(4) その他

次回開催予定について

(会長)

全体を通して、意見等はないか。

(アドバイザー)

市内企業に対するアドバイザー派遣が7社という数字は毎年決まっているのか。

(事務局)

毎年この数字で行っている。国も県も基本的には同じような施策を行っているが、企業選定までたどり着くのが難しい状況にあることから、7社というところで派遣を行っている。

(アドバイザー)

100人以下の企業が努力義務のため、なかなか小さな企業では行動計画、女性活躍促進の取り組みをしていないところが多い。積極的に1社でも多く、アドバイザー派遣をお願いしたい。

(会長)

その他、意見はないか。

(委員)

資料内に今後のスケジュール予定として、令和4年9月に女性ロールモデルによるセミナーを行うとあるが、どのような進捗になっているのか。

(事務局)

9月28日に男女共同参画センターで、女性のためのキャリアデザインセミナーを開催する予定である。

(委員)

参加人数はどうなっているのか。

(事務局)

12名である。

会議経過及び会議結果

(委員)

当初の予定どおりなのか。

(事務局)

通常はこのくらいである。

(委員)

私的には、このような事業を目にすることがなかったので、どういう形で広く皆さんにお知らせしているのか気になるが、良い研修だと思うので、広く知っていただき、多くの方に御参加いただきたい。

(会長)

それでは本日の懇談会は、これをもって終了とする。

(閉会)